

アルカリ蓄電池を発火源とする火災における出火原因別の件数

		蓄電池火災 (建物・車両、船舶等 含む) ※1	蓄電池設備又は UPS ※2	ニッケル・カドミウム蓄電池 ※3	ニッケル・水素蓄電池 ※5	経過(火災に至る現象、状態、行為)										焼損面積 (㎡)	死者 (名)	負傷者 (名)					
						電線が短絡する	過多の電流を流す	漏電(地絡)する	スパークする	金属の接触部が過熱する	絶縁劣化による発熱	機械が故障を起こす	スパークによる引火	容器が破損腐食する	その他				不明				
2010年	平成22年	133	8	1 ※3			1										0	0	0				
2011年	平成23年	145	8	1 ※4	1 ※5		1								1		0	0	0				
2012年	平成24年	136	6																				
2013年	平成25年	138	8																				
2014年	平成26年	136	10																				
合計		688	40	2	1		2								1		0	0	0				

※1:総務省消防庁に報告された火災データのうち、発火源の小分類が「1303 蓄電池」である全火災を抽出

※2:条例規制にかかわらず、携帯電話用等の持ち運べるようなものを除いたものを抽出

※3:蓄電池製造メーカーでの性能試験中の過充電により、端子から出火したことによる火災のため、一般的に使用される状況での火災とは異なる

※4:開放形の蓄電池の電解液の不足により、極板から出火したことによる火災のため、検討の対象外である

※5:蓄電池充放電評価装置の製造メーカーでの性能試験中の過充電により、蓄電池から出火したことによる火災のため、一般的に使用される状況での火災とは異なる